

逗子市支援シート

通しNo. 記入者: 記入日: 年 月 日

所属学級	性別	氏名	特記事項	
連携機関				
良いところ		気になるところ		
学校				
家庭・他				
以前の支援と結果	学校			
	家庭			
	他			
支援方針と今後の方針	長期目標			
	短期目標			
	支援方針			
		誰が	期限/期間	支援方法
	学校			
家庭				
地域・連携機関等				
継続	経過観察	終結(年 月 日)	

上記のことについて確認しました。

保護者氏名

逗子市支援シートについて

1. 目的と活用について

援助ニーズがある児童・生徒について、より良い支援を行うために作成します。また当該の児童・生徒に関わる複数の教職員が援助チームとなって効果的な支援を行うために活用します。

2. 対象児童・生徒について

援助ニーズがある全ての児童生徒について、作成します。特別支援学級、ことば・きこえの教室、支援教室、適応指導教室「なぎさ」、教育研究所教育相談等を利用している児童・生徒もこれに含まれます。

3. 作成時期について

支援における年間の見通しをつけるために、5月末までに新規作成や更新することが望まれます。

4. 作成者と記入者について

保護者の要望や同意を得たうえで、校内支援委員会が作成し、担任が中心となって記入します。他機関を利用している場合においても、同様です。

5. 提出について

学習支援員のついている児童生徒については、5月末までに学校教育課に提出します。

6. 神奈川県が例示している支援シートについて

逗子市支援シートを作成している児童生徒については、神奈川県が例示している支援シートを重ねて作成する必要はありません。

7. 管理と閲覧について

管理職の責任の下、鍵のかかる金庫等に1部保管し、当該児童・生徒の支援に関わる教職員が閲覧できるようにします。また、保護者も1部保管します。

8. 新就学の児童について

逗子市就学支援委員会での審議結果、関係機関からの提供資料、保護者からの要望、行動観察の結果などを総合して、担当指導主事が作成したものを各学校長に届けます。

9. 卒業後や転出時の扱いについて

市立中学校への進学および転出の場合は、要録同様に学校間で受け渡しを行います。その際、担当者からの口頭での引き継ぎも望まれます。私立中学校等への進学および高校への進学の場合は、保護者に渡します。

10. 電子ファイルについて

共有キャビネットからダウンロードしてご活用ください。行の幅等を適宜変更してください。

11. 作成例について

共有キャビネットからダウンロードしてご活用ください。

記入例3修正後

逗子市支援シート

通しNo.1 記入者:〇〇〇〇(担任の氏名) 記入日: 2016年 6月 15日

所属学級	性別	氏名	特記事項
4-2	女	〇〇〇〇	FIQは境界域(巡回SCがWISC-Ⅲ、2013年2月)
連携機関	支援教室、巡回SC		

学校	良いところ	気になるところ
	音楽や体育に積極的に参加する。 給食係の活動に積極的に参加する。 友達を保健室に連れて行くことができる。	促音のある語句の音読に苦戦している。 はさみで線を切るのが苦手。 書字がワクからはみでることが多い。

家庭・他	将来はデザイナーになりたいくて、絵を描く練習をしている。	食べ物をこぼしてしまうことが多い。
------	------------------------------	-------------------

以前の支援と結果	学校	マス目の大きなノートを用意したら、ノートテイクの頻度が改善した。
	家庭	洗濯物のお手伝いをさせて、タオルを畳むことができるようになった。
	他	支援教室で手と目の協応のトレーニングをして、手先の器用さが上達した。

支援方針と今後の方針	長期目標	授業中に板書する時間を増やす。
短期目標	「わからない」「教えて」と発言できるようにする。	
支援方針	手先を使う課題のときに援助する。	

	誰が担任	期限/期間	支援方法
学校		前期まで	机間支援で「わからないところがある？」等の声かけをする。
家庭	保護者	前期まで	食器のあげさげを一緒に行う。
地域・連携機関等	SC	前期まで	面談を継続して、援助ニーズについて保護者と確認する。
	支援教室	前期まで	手と目の協応を中心としたトレーニングをする。

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。
保護者氏名 〇〇〇〇

記入例3修正前

逗子市支援シート

通しNo.1 記入者:〇〇〇〇(保護者名) 15日

所属学級	性別	氏名	特記事項
4-2	女	〇〇〇〇	保護者以外で、校内の援助チームの氏名を記入しましょう。
連携機関	支援教室、巡回SC		

学校	良いところ	気になるところ
	まじめ。	促音 書字がワクからはみでることが多い。 巡回SCが発達検査をした。

家庭・他	将来はデザイナーになりたいくて、絵を描く練習している。	
------	-----------------------------	--

以前の支援と結果	学校	落ち着いてきた。
	家庭	お手伝いはダメだった。
	他	支援教室で手と目の協応のトレーニングをして、手の器用さが上達した。

支援方針と今後の方針	長期目標	授業中に板書する時間を増やす。
	短期目標	課題ができないときに机に伏せることを減らす。
	支援方針	手先を使う課題のときに援助する。

	誰が担任	期限/期間	支援方法
学校		前期まで	机間支援で必ず声かけをする。
家庭			
地域・連携機関等			

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。
保護者氏名 〇〇〇〇